

第6次小山市行政改革大綱実施計画 進捗状況調査書

No.	取組項目			担当課・担当係	取組番号	区分			
54	固定資産税未調査家屋等調査の強化			資産税課	2-3-2-005	継続			
基本方針	分権時代に対応した人材育成と持続可能な財政運営	大項目	財政基盤の強化と計画的な財政運営	中項目	受益と負担の適正化				
取組概要	固定資産税未調査家屋等調査を強化し、課税の公平性と税収確保を図る。			達成目標	年間50棟以上の家屋を調査する	目標年度 H31			
推進計画		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
新增築調査時の発見による調査、市内巡回時対象物件の把握に努める。	活動計画	●	●	●	●	●			
	実施状況	●	●	●					
指標名		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	累計・最終目標	累計実績	達成率
調査棟数	目標値	50	50	50	50	50	250	353	141.2%
	実績値	91	160	102					
効果額(千円)	目標値	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	5,250	5,070	96.6%
	実績値	1,584	1,871	1,615					
効果額の算出基礎	過去に調査発見した家屋1棟当たり課税額の平均値21千円を基準とした。 平成22年度：33千円、23年度：22千円、24年度：18千円、25年度：12千円								
年度	P 年次計画・目標		D 実施状況・主な取組内容			C・A 課題及び次年度に向けた改善内容			
H27	新增築調査時の発見による調査市内巡回時対象物件の把握に努める。		50年に1度とされる水害対応により計画に沿った調査はできなかったものの、被害調査の実施に伴い未調査物件が判明し、調査しました。			市内家屋の全棟調査を実施できるよう準備を進めるとともに、新築家屋の把握の際には、同敷地の既存家屋の課税漏れが無いよう確認を徹底します。			
			進捗度	B 計画通り					
H28	新增築調査時の発見による調査市内巡回時対象物件の把握に努める。		新增築調査時や、市内巡回時に把握した未調査物件について、調査し課税しました。			目標は達成しているが、引き続き精力的に取り組み、未調査家屋の把握を計画的に進め、調査棟数の倍増を目指します。			
			進捗度	A 計画より早い					
H29	新增築調査時の発見による調査市内巡回時対象物件の把握に努める。		新增築調査時や、市内巡回時に把握した未調査物件について、調査し課税しました。			目標は達成しているが、前年度より低い結果となったため、より精力的に取り組み、未調査家屋の把握を計画的に進め、調査棟数を増加させます。			
			進捗度	A 計画より早い					
H30	新增築調査時の発見による調査市内巡回時対象物件の把握に努める。								
			進捗度						
H31	新增築調査時の発見による調査市内巡回時対象物件の把握に努める。								
			進捗度						